



年末年始における犯罪被害及び事故防止

生活安全企画課

年末年始は人々の動きが慌ただしく、お金や物の流通も頻繁になります。このため高額のお金を扱う金融機関や店舗に対する「強盗」や女性、高齢者等を狙った「ひったくり」の発生が懸念されるほか、年末年始を故郷で過ごす方の留守を狙った「空き巣」などが多発するおそれがあります。

また、高齢者を狙った「振り込め詐欺」被害が依然として後を絶たないことから、年末年始に帰省した際、家族や親族に注意を呼びかけるなど、家族ぐるみの防犯対策で被害を防止しましょう。

更には、日没が早いこの時期は、子どもや女性を狙った犯罪の発生が心配され、声かけ事案等に対する「子どもの安全対策」や性犯罪被害等に対する「女性の安全対策」により一層の注意をお願いします。

県警では、年末年始に向けて多発するおそれのある各種犯罪及び事故の抑止を図り、県民の皆様が安心して年末年始を過ごせますよう、12月1日（日）から翌年1月5日（日）までの期間を『年末年始特別警戒取締り』として、警察力を結集して犯罪の予防、警戒及び取締り活動を強化いたします。

具体的には、商店街や繁華街、更には住宅街、公園など皆様の身近な場所で発生する犯罪の予防を目的としたパトロールや金融機関、深夜のコンビニエンスストア、景品買取所等への立ち寄り警戒などを強化し、安全・安心なまちづくりを推進していきます。



ひったくり対策

ひったくりは、男女ともに被害に遭っています。
自転車に乗車する時は、

◎ カゴに防犯カバーを正しく取り付ける

歩行中は、

◎ 必ずバッグ等を車道と反対側にしてしっかり持つ

とともに、後方から近づいてくるバイク、自転車にも注意を払い「もしかしたら…」という警戒心を常に持ちましょう。



空き巣対策

空き巣被害の主な侵入場所は『窓』であり、その手口は『ガラス破り』が多くを占めています。

また、無締り箇所から侵入される被害も依然として発生しています。

自宅を留守にする際は、

- ◎ 窓に錠を2つ以上つける
- ◎ 防犯ガラス、防犯フィルム及び防犯砂利等の防犯グッズを活用する
- ◎ 外出時、就寝時は、必ず施錠する

などの対策をとりましょう。

マドのチェックポイント



振り込め詐欺対策

振り込め詐欺の犯人は、家族を名乗り、「携帯電話をなくした」「小切手が入ったカバンを忘れた」等と電話し、お金の工面を要求し、「代わりの者が取りに行く」等と言ってきます。

家族を名乗っても、突然、現金等を要求された時には、最寄の警察署に相談して下さい。

また、市役所職員等を名乗った男が「医療費の還付金があります」「ATMに行ってください」等と言って、ATMを操作させて、現金を振り込ませる手口もあります。

公共機関等の職員がATMの操作をさせることは、ありません。

年末年始で親族の皆さんが集まる機会がありましたら、振り込め詐欺について注意しましょう。

お金を取りに行くから



子どもの安全対策

お子さんが被害に遭わないために《ひとりで遊ばない・知らない人についていかない》ことを教えるとともに、外出時に危険を感じた時は

- ◎ 大声で助けを呼ぶ
- ◎ 迷わず付近の家や店に逃げ込む
- ◎ 防犯ブザーを鳴らす

等の対策をとるよう繰り返し指導願います。

また、クラブ活動や習い事等で帰りが遅くなるお子さんに対しては、可能な限り家族が迎えに行きましょう。



女性の安全対策

被害に遭わないためには、日頃の心構えが大切です。防犯対策として、

- ◎ 暗い道や人通りの少ない道は避けて通る
- ◎ 帰宅が遅くなる時は《家の人に迎えに来てもらう・タクシーを利用する》
- ◎ 防犯ブザーをすぐに使える状態で携行する

等の対策をとるとともに、

「音楽を聞きながら」「携帯電話を操作しながら」等の「ながら歩行」をしない

等、常に周囲への警戒心を持ちましょう。

